

取引先様各位

2020/06/02

## 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（nite）からの公表に対する見解

エレコム株式会社

平素は、弊社次亜塩素酸水「エクリアゼロ」シリーズをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

この度、独立行政法人 製品評価技術基盤機構（nite）から 2020/05/28 に公表された、「新型コロナウイルスを用いた代替消毒候補物資の有効性評価にかかる検証試験の中間結果」及び、2020/05/29 に公表された「次亜塩素酸水に関するファクトシート」に対してお問い合わせをいただいておりますので、メーカーの公式見解を記載させていただきます。

### 1. nite の「新型コロナウイルスを用いた代替消毒候補物資の有効性評価にかかる検証試験の中間結果」について：

nite の発表資料では、『「次亜塩素酸水」については、今回の委員会では判定に至らず、引き続き検証試験を実施することとされました。』との記載があり、有効性が認められなかったとの結論には至っておりません。発表の概要を以下に記載いたします。

- ・今回発表内容は「次亜塩素酸水（電気分解で生成したもの）」に関する結果である
- ・低濃度を除く「次亜塩素酸水」では、国立感染症センターの試験で新型コロナウイルスへの有効性が確認できた
- ・北里大学の試験では有効性が確認できなかった
- ・「次亜塩素酸水（電気分解で生成したもの）」と、「次亜塩素酸水（電気分解以外の方法で生成されたもの）」の有効性について、引き続き検証をしていく

今回、nite が検証した次亜塩素酸水は、上述の通り、電気分解で生成された次亜塩素酸水です。弊社は、2020/06/02 現在において、エクリアゼロ、エクリアゼロライト、エクリアゼロ for Pro、エクリアゼロライト for Pro、エクリアゼロストロング for Pro と称する 5 種類の次亜塩素酸水を販売しており、各製品の製法は、電気分解とは異なっております。エクリアゼロ、エクリアゼロライト、エクリアゼロ for Pro、エクリアゼロライト for Pro、は、特殊なフィルターを用いて、原料から次亜塩素酸を抽出する製法で生成される次亜塩素酸水です。エクリアゼロストロング for Pro は、イオン交換による製法で生成される次亜塩素酸水です。

参照：「新型コロナウイルスを用いた代替消毒候補物資の有効性評価にかかる検証試験の中間結果 (P24)」 <https://www.nite.go.jp/data/000109487.pdf>

## 2. 「次亜塩素酸水に関するファクトシート」について：

今回、経済産業省から提出された、新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会事務局へ提出されたファクトシートの表記内容の要点は、下記の通りです。

- ・ pH 値の記載がないものへの警鐘
- ・ 原料の記載がないものへの警鐘
- ・ 濃度未記載のものへの警鐘
- ・ 製法記載が無いものへの警鐘
- ・ 製造月未記載のものへの警鐘
- ・ 的確な保存方法、保管方法の明記が無いものへの警鐘
- ・ 遮光ボトルでないものへの警鐘

上記のような警鐘が発表されているものの、弊社の次亜塩素酸水は、雑貨品に分類されるため、法律によって表示内容が定められているものではありません。そこで、弊社は、医薬品・医薬部外品に該当する石鹼における成分などの表示内容を参考とし、液性や成分などを記載しております。(表1)

品名	エクリアゼロ シリーズ エクリアゼロライト シリーズ	エクリアゼロストロング for Pro
液性	弱酸性 ※製造時 ※保管環境により変動する場合があります	弱酸性 ※製造時 ※保管環境により変動する 場合があります
成分	次亜塩素酸、水	次亜塩素酸、水
有効塩素 濃度	エクリアゼロ：約 250ppm※1 エクリアゼロライト：約 75ppm※1 エクリアゼロ for Pro：約 100ppm エクリアゼロライト for Pro：約 50ppm	約 600ppm
保管環境	冷暗所で保管	冷暗所で保管
使用期限	エクリアゼロ：製造より約 3 年間※1 エクリアゼロライト：製造より約 3 年間※1 エクリアゼロ for Pro：製造より約 2 年間 エクリアゼロライト for Pro：製造より約 2 年間 ※未開封の場合	製造より約 1 年間 ※未開封の場合

表1：シリーズ別の表記内容（※1. 本見解書中での記載を除き、現時点で非公開）

参照：『「次亜塩素酸水」等の販売実態について（ファクトシート）』

<https://www.nite.go.jp/data/000109500.pdf>

### 3. 空間噴霧による有効性について：

エクリアゼロ、エクリアゼロライト、エクリアゼロ for Pro、エクリアゼロライト for Proでは、試験空間にて、次亜塩素酸水空間噴霧による空間浮遊菌の除菌効果を確認しております(別紙1)。

エクリアゼロストロング for Proでは、試験空間にて、次亜塩素酸水空間噴霧による空間浮遊ウイルスの抑制効果を確認しております(別紙2)。

空間噴霧における有効性の表現においては、「試験空間」での確認結果であるとして、実使用環境での効果ではないことを明示しております。なお、試験空間では、密閉空間内にファンを入れて、ミストがいきわたりやすいようにしております。そのため、使用時は、サーキュレーターなどを用いて、使用空間内の空気を循環させることをお勧めいたします。

### 4. 次亜塩素酸水の安全性、空間噴霧における影響について：

各種試験によって安全性を確認しております。

エクリアゼロ、エクリアゼロライト、エクリアゼロ for Pro、エクリアゼロライト for Proでは、以下の試験を実施しております。

- ・経口毒性試験、皮膚刺激性試験、眼刺激性試験(別紙3)

エクリアゼロストロング for Proでは、以下の試験を実施しております。

- ・経口毒性試験、水質検査(飲用適)、皮膚パッチテスト(別紙4)

また、ファクトシート内で参照されている文献『次亜塩素酸の科学・基礎と応用(福崎智司著)』の第7章「次亜塩素酸水溶液の超音波霧化による施設環境の殺菌」では、次亜塩素酸水の空間噴霧による有効性と安全性についての言及があり、弊社製品での次亜塩素酸水の使用方法は、これに則っております。

なお、弊社が販売する次亜塩素酸水について、気管支への障害、皮膚への障害を含め、健康に障害を与えるような報告はこれまで1件も受けておりません。

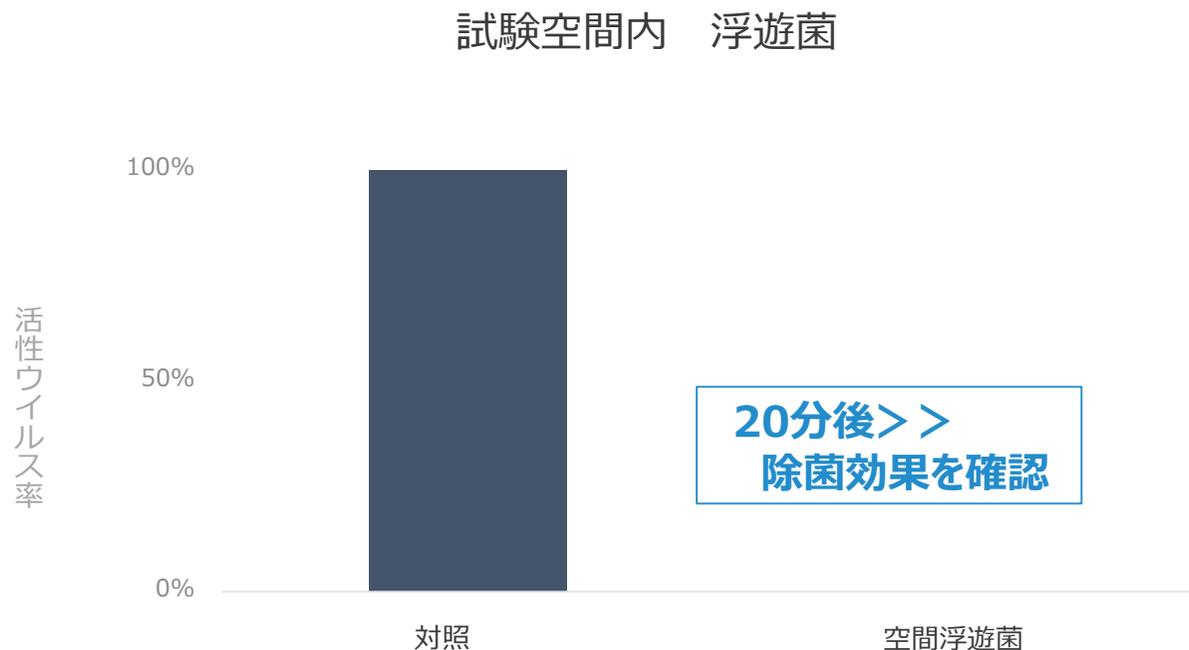
参照：『「次亜塩素酸水」の空間噴霧について(ファクトシート)』

<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200529005/20200529005-3.pdf>

お取引企業様、お客様へご心配をお掛けしますが、品質や安全性には自信をもっており、今後とも品質改良や試験などをメーカーとして責任をもって行って参ります。

以上

# 別紙 1 エクリアゼロ・ゼロライトシリーズ 試験空間内浮遊菌 除菌試験結果

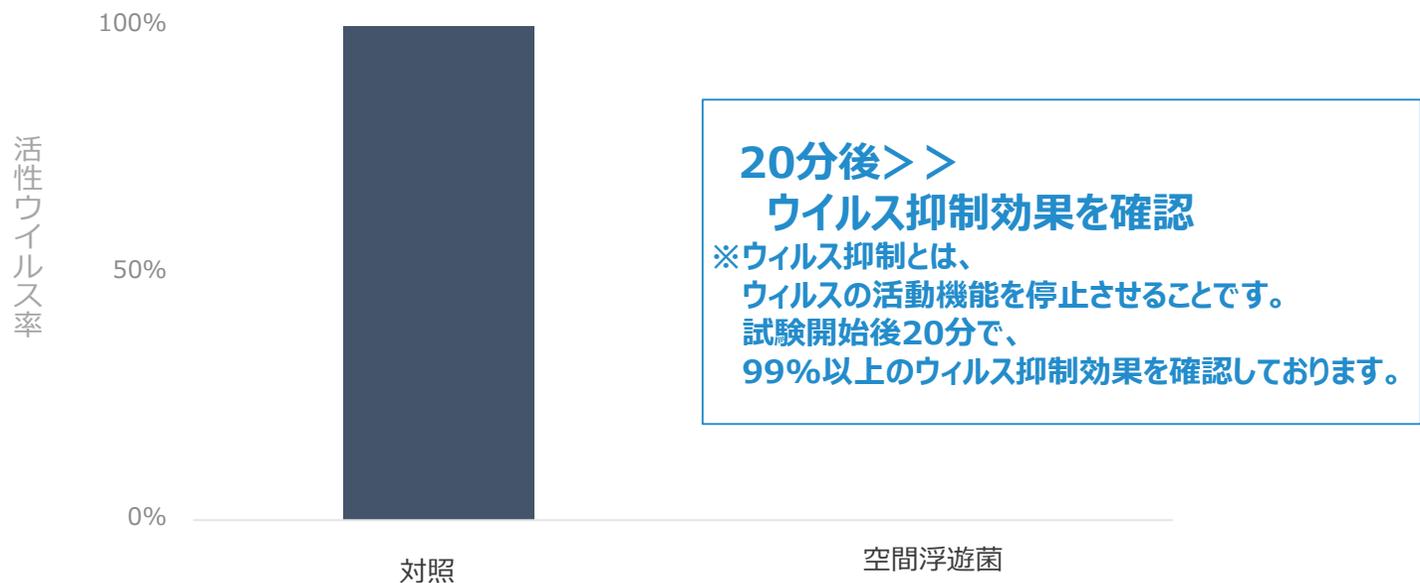


試験機関：（一財）北里環境科学センター  
試験条件：JEM1467 附属書D「浮遊ウイルス除去性能評価試験」準用  
試験方法：約6畳の試験空間で、エクリアゼロfor PRO(20ppm)を入れた加湿器「HCE-HU1906AWH」を「強」運転し浮遊菌数を測定  
試験番号：北生発2019\_0072号  
試験結果：20分で99%以上除菌

※試験環境での結果であり、実使用環境での効果ではありません。  
使用環境により効果は異なります。  
※すべてのウイルスの働きを抑制するわけではありません。  
※試験結果であり、病気の治療や病状の緩和を保障するものではありません

# 別紙2 エクリアゼロストロング for Pro 試験空間内浮遊ウイルス 試験結果

試験空間内 浮遊ウイルス



試験機関：(一財)北里環境科学センター  
試験条件：JEM1467 附属書D「浮遊ウイルス除去性能評価試験」準用  
試験方法：約6畳の試験空間で、エクリアゼロストロング(50ppm)を入れた加湿器(噴霧量380ml/h)を運転し浮遊ウイルス数を測定  
試験番号：北生発25\_0133\_2号  
試験結果：20分で99%以上抑制

※試験環境での結果であり、実使用環境での効果ではありません。  
使用環境により効果は異なります。  
※すべてのウイルスの働きを抑制するわけではありません。  
※試験結果であり、病気の治療や病状の緩和を保障するものではありません

# 別紙3. エクリアゼロ・ゼロライトシリーズ安全性試験

## 皮膚一次刺激性検査※1

ウサギを用いる  
皮膚一次刺激性試験  
において、検体は  
「無刺激物」の範疇  
にあるものと評価された。

### ※1 試験条件

試験名：ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験  
(OECD Guideline for Testing of Chemicals  
404(2015)準拠) / 試験条件：検体をウサギ3匹  
の無傷および有傷皮膚に24時間閉鎖適用する。そ  
の後、一時刺激性インデックス (P.I.I) を算出  
し、刺激性の指数を求める。

試験機関：日本食品分析センター

試験番号：第20017580001-0101号

試験実施濃度：200ppm

## 眼刺激性検査※2

ウサギを用いる  
眼刺激性試験において、  
検体は「無刺激物」の範疇に  
あるものと評価された。

### ※2 試験条件

試験名：ウサギを用いる眼刺激性試験 (OECD  
Guideline for Testing of Chemicals 405(2017)準  
拠) / 試験条件：ウサギ3匹の片眼に検体を0.1mlを  
点眼し、1時間後、24時間後、48時間後、72時間後の  
角膜、虹彩、結膜などの観察を行い、Draize法の基準  
に従って眼刺激性の程度を採点し、刺激性の評価を実施

試験機関：日本食品分析センター

試験番号：第20017580001-0201号

試験実施濃度：200ppm

## 急性経口毒性検査※3

観察期間中に  
異常及び死亡例は  
認められなかった。

### ※3 試験条件

試験名：雄マウスを用いる急性経口毒性試験  
(OECD Guideline for Testing of Chemicals  
420(2001)準拠) / 試験条件：2000mg/kgの容  
量の検体を雄マウスに試験液を単回経口投与し、  
14日間観察を行う

試験機関：日本食品分析センター

試験番号：第19143125001-0101号

試験実施濃度：200ppm

# 別紙4. エクリアゼロストロング for Pro安全性試験

## 飲料水適合※1

水質検査試験を実施し、  
食品衛生法「飲用適の水」に  
適合することを確認

### ※1 試験条件

試験名：水質検査／食品衛生法及び平成15年厚生  
労働省告示第261号

試験機関：環境未来株式会社

試験番号：HNG0000078-136586、

HNG0000078-137984

試験実施濃度：100ppm

## 皮膚パッチテスト※2

皮膚パッチテスト済  
(オープンテスト)

### ※2 試験条件

試験名：オープンパッチテスト

・「皮膚刺激性・感作性試験の実施法と皮膚性状計測  
および評価」第1章 皮膚刺激性試験 第3節 ヒトパッチ  
テスト (p29) に準じた手法にて実施。

試験機関：株式会社SOKEN

試験番号：EBTK\_op-18221

試験実施濃度：200ppm

## 急性経口毒性検査※3

観察期間中に  
異常及び死亡例は  
認められなかった。

### ※3 試験条件

試験名：雄マウスを用いる急性経口毒性試験  
(OECD Guideline for Testing of Chemicals  
420(2001)準拠)／試験条件：2000mg/kgの容  
量の検体を雄マウスに試験液を単回経口投与し、  
14日間観察を行う

試験機関：(一財)日本食品分析センター

試験番号：第10086314001-01号

試験実施濃度：500ppm